

平成27年度 岩美中学校 スクラム教育 1学期マネジメント

| | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------------------------|--|----------------------------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------|---|---|---------|--|
| スクラム教育の目標 | | 小1プロブレムや中1ギャップなど異校種間で子どもの「育ちや学び」がとぎれないよう、縦(校種間)や横(家庭・地域)の連携を大切に、めざす子ども像の実現に向けた教育を推進する。 | | | | | | | | |
| スクラム教育のテーマ | | めざす子ども像「自立する子」「人とのつながりを大切に子」「岩美町を好きになる子」の達成 | | | | | | | | |
| スクラム教育重点努力目標 | | (1)発達段階を考慮に入れた教育活動を創造する。 (2)校種間を越えてた重複的連続性と校種間連携による学習(遊び)を創造する。 (3)スクラム教育の取組について、保護者や地域に向けて情報発信を行い、協働する。 | | | | | | | | |
| 学校教育目標 | | 生活のリズム(望ましい生活習慣・食事のあり方・メディアとのつきあい方)、生活習慣(身だしなみ、清潔感、整理整頓)を定着させ、自主・自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係作りを構築し、学力向上を目指す。 | | | | | | | | |
| めざす子ども像 | 目指す児童・生徒の姿 | 主な活動 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 到達目標 | 評価基準 | 成果と課題提言 | |
| 自立する子 | 「確かな学力」の基盤となる望ましい基本的な生活習慣を身につけている。 | チャレンジデー(名称変更)を毎月第2水曜日に行う | 名称変更と、取組みについての基本方針の作成 | チャレンジデーの実施と結果集計、HPへ結果UP | チャレンジデーの実施と結果集計、HPへ結果UP | チャレンジデーの実施と結果集計、HPへ結果UP | メディアの付き合い方を考え、規則正しい生活を送ることができる。 | NO MEDIAの実施率75%以上 | | |
| | | 生徒の現状を情報発信し、基本的な生活習慣を身につけるように啓発する。 | 早寝早起き朝ごはんの啓発(保健だより等) | 早寝早起き朝ごはんの啓発(保健委員会の活用) | 生活振り返りアンケート | 学校保健委員会生徒の実態をチラシやHPで広報 | | 【生活振り返り】平日にメディア利用が2時間以内の生徒60%以上 | | |
| | | 朝読書への完全移行 | 分掌間のすり合わせを行い、朝読書のルール作成 | 実施状況を観察し、適宜修正を加える | | 1学期の朝読書の課題を出し、2学期に向けて修正する | | 1ヶ月の読書が3冊以上 | | |
| | | 自学ノートの充実 各種課題の在り方検討 | 自学ノートの開始 課題の在り方を教科別に検討 | 1学期中間テスト | | 一学期期末テスト | 自分から意欲的に読書や家庭学習に取り組むことができる。 | 自主学習ノート提出率80%以上 | | |
| | | 履歴書に書ける検定を受験させる | 教科担当、学年団等の呼びかけ | 漢検・英語検定申込み 過去問トレーニング | 漢字検定実施 英語検定実施 | 木岡先生を迎えての職員研修会 | 結果を受けて、次の級へのチャレンジ | 年間で受験数が学年の3割以上 | | |
| | | 小6・中2交流会の検討 | | 教務主任会で前年度の結果を踏まえた見直し案の作成 | | | | 第1次案の作成 | | |
| | | 中学校教員による出前授業 | 町内各小学校へ出前授業の希望有無の打診 | 教務が中継役になり、希望校との調整 | (希望に応じて適宜実施) | | | 1学期間に3小学校でそれぞれ1実践以上 | | |
| | | 高校教員による出前授業 | 高校へ相談 | | 可能な場合、夏期休業中研修会 | 補充などで実施できるように連絡調整 | | 5教科のうち2教科で調整 | | |
| 小中9年間を見通したカリキュラムの実施 | | シラバスを見て、学習のつながりを意識した授業実践 | | | | | 教科ごとにシラバスを回覧 | | | |
| を人々と切ににつながるが子 | 自尊感情を高めるとともに他者理解を深め、コミュニケーション力を身につける。 | 校種間連携により児童・生徒の心理的安定の軽減を行う。 | ふれあいタイム、「話す・聞く」の指標の活用 <学習指導部> | 学習指導部の内容 | | | 自尊感情を高め、コミュニケーション能力を育てる活動を体験することで、児童・生徒間のつながりが強くなる。 | 【OU検査】 「学校生活満足群」55% 「学校生活不満足群」15% | 第1次案の作成 | |
| 岩美町を好きになる子 | 地域の「ひと・もの・こと」に親しみ、岩美町を好きになる。 | 敬老会との合同給食などの実施 | | | 町の福祉担当と本年度の実施について第1次検討 | | | 第1次案の作成 | | |
| | | 熊井浜研修、ジオパーク学習など地元での現地学習 | ジオパーク学習(2年) 熊井浜研修(3年) | | | ジオパーク学習(1年) | 様々な行事等を通して、地域への貢献の意識を高める。 | 実施し、学年ごとにC&Aの検討記録を残す | | |
| | | 地域行事(各地区運動会、ボランティア活動、町教委・公民館・自治会主催行事)への積極的参加の促進 | 春の大祭(大岩地区、牧谷、浜浦富) | 浦富海岸健康マラソンへの参加 岩美町内一斉清掃活動 | 各地区運動会 | 大谷海岸清掃 浦富海岸清掃 | | 【生質】ボランティア参加による地域への貢献意識80%以上 | | |